

製品名: CD5 (リン酸化 Tyr453) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04406**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 40kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CD5 |
| 別名 | CD5; LEU1; T-cell surface glycoprotein CD5; Lymphocyte antigen T1/Leu-1; CD antigen CD5 |
| 遺伝子 ID | 921.0 |
| SwissProt ID | P06127 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト CD5 の Tyr453 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470 |

背景

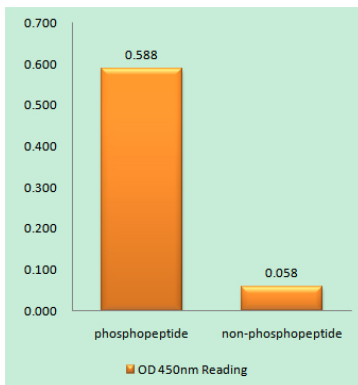
機能: T 細胞増殖を制御する受容体として作用する可能性があります。CD5 は CD72/LYB-2 と相互作用します。類似性: 3 つの

SrcR ドメインを含みます。機能: T細胞増殖を制御する受容体として作用する可能性があります。CD5はCD72/LYB-2と相互作用します。類似性: 3つのSrcRドメインを含みます。

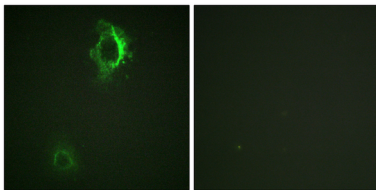
研究分野

造血細胞系統

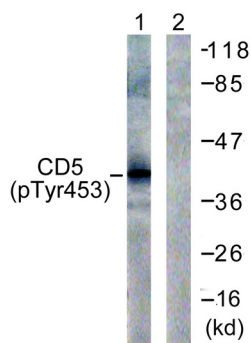
画像データ



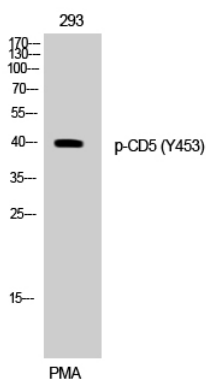
CD5 (リン酸化 Tyr453) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



CD5 (リン酸化 Tyr453) 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30分処理した 293 細胞ライセートの CD5 (リン酸化 Tyr453) 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



リン酸化 CD5 (Y453) ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析

